



## 7月16日(木)は ふるさと食材の日「ふるの産メロン」!

### ★おいしいメロンについて★

苗を畑に植えてからメロンが実って出荷されるまでには、約3ヶ月かかります。今回提供していただくものは4月の中旬に植えたものです。メロンは雨にぬれると病気になるやすいので、ビニールハウスで育てるなどの工夫が必要です。不要な部分のつるを取り除いたり、摘果したり…すべて手作業で行います。

### ① メロンの品種はたくさんあります

「メロン」とひとくちに言ってもその種類は様々です。病気に弱い品種のメロンは接ぎ木をして育てますが、最近では病気に強いメロンも開発されています。今回のふるさと食材の日に提供していただく「ティアラ30」という品種は比較的新しい品種で、病気に強いという特徴があります。また、糖度が高く、肉厚でおいしい品種なのだそうです!

### ② メロン農家さんの相棒は…

メロン農家さんには必要不可欠な相棒がいます。それは…ミツバチです! メロンには雌花と雄花があり、実を付けるには花粉を運んでくれるミツバチが必要です。そのため、ミツバチをビニールハウスに放って、花粉を運んでもらいます。ミツバチはとても大切な役割を担っています。



今年、富良野市東山地区のふるの産メロンをお届けします!  
JAふるの東山メロン部会 部会長の伊藤さんにお話を聞きました!

葉っぱの色が変わってきたら収穫が近づいているサインです。葉っぱの色とメロンの様子を見て、収穫日を決めているそうです。

伊藤さんから♪  
メロンは産地や品種によって味が全然ちがいます。ぜひいろいろなメロンを食べて、自分のお気に入りのものを見つけてください!

